

大和北道路有識者委員会発言要旨

奈良県タクシー協会

奈良市は世界遺産を持つ観光都市ですが、観光シーズンには南北の幹線道路であります国道２４号、１６９号が渋滞し、これらの道路混雑を迂回して、生活道路に迷い込んでくる自家用自動車等による道路混雑で生活交通に大きな支障があります。

タクシーは「ドアー・ツウ・ドアーの機動的・個別的公共輸送機関」として国民生活に定着していると評価されており、高齢者等の交通弱者、観光客等の道不案内者、荷物を持っている人等の人々にとって重要な交通機関であります。しかし道路混雑により乗りたい時に乗りたい場所で乗ることが出来ずあるいは目的地に予定通り着かない状況があります。例えば電話等での配車予約に余裕を持って無線による配車指示をしても、交通渋滞で予定時刻に指示された配車場所に着かないことがあります。又、料金については現在時間距離併用運賃が適用されており渋滞があって時速１０km以下になりますと中型で、１分５０秒、小型で２分５秒経過すると爾後料金が９０円加算されますので、通院等で道路混雑の状況によっては往復の運賃が異なる等利用旅客に過分の負担を強いることとなります。特に高齢者等交通弱者においては、日常生活に支障をきたし深刻な状況にあります。

タクシーは生活交通として安全とともに迅速性が求められていま

す。道路交通の混雑により機能低下が著しく、迅速な輸送を行うことはきわめて困難となってきたことからタクシーの信頼性を大きく損ない利用者の「早く安全で確実に着く、」という期待に応じられない状況にあります。

観光分野におきましては「観光ルート別運賃」のしくみがあり、予め定められた観光スポットを巡って案内し所要時間を概算し料金が定められています。しかし先に申し上げました道路混雑の影響で移動時間を費やし、予定していた観光ルートの案内が充分でなかったり、時間に制約があって観光施設の一部を割愛するような事態となり、観光需要があるにもかかわらず、旅行行程の不確実さから旅行会社の企画旅行等で歓迎されない傾向があります。

道路交通の整備が国民生活や奈良県における観光資源を活用した経済活性化に欠かせないことは申し上げるまでもありませんが計画道路の効果を最大限活用するためには有効でかつ機能的であることが必要であると考えます。今般検討されています大和北道路におきましては通過交通においては最短距離であるとともに県内の幹線道路とは大和北道路が機能的な結節点で結ばれる古都が最重点課題であると考えます。大和北道路の計画にあたって御提言いただくようよろしくお願いいたします。